

温かいお湯に入って みんなで利用しませんか

立春は過ぎましたが、一年のうちで最も寒さが厳しい季節です。こうしたときにこそ、家族や仲の良いグループなど、みんなで温かいお湯に漬かりながら、日ごろたまった疲れを癒やすのが一番ではないでしょうか。今回は、市有施設である、あいのやまの湯（荻窪町）と粕川温泉「元氣ランド」粕川町月田）の二カ所へ行き、それぞれの特徴などをお聞きしました（担当は市民編集委員・杉山、三輪）。

問い合わせは広報広聴課 890 6642へ。

あいのやまの湯

名称の由来は旧字名の「會ノ山」。東と西の小高い丘が出会う場所で、こう名付けられたそうです。場所は県道渋川・大胡線を北へ入った荻窪公園の中にある、その核となる施設「ふれあい健康づくり」「コミュニティづくり」という三つのテーマで、平成十五年十二月にオープンしました。

外観は赤城型民家をイメージした和風建築で屋根は本瓦です。広い駐車場を備え、その一角には農畜産物直売所「味菜」もあります。公共交通は永井バス前橋公園・小坂子・荻窪公園「線」の利用が便利です。

市民や近隣に住む皆さんはもちろん、県北部へハイキングやスキーに訪れた団体などが観光バスで帰り道に寄るなど、多く



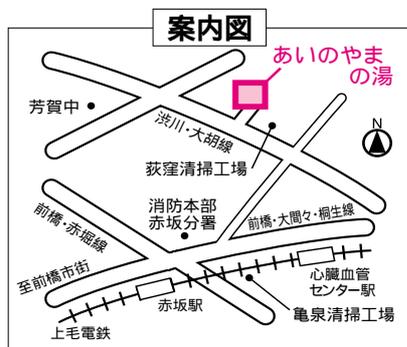
手すりの付いた風呂付き個室も

の人たちでにぎわっています。バリアフリーに配慮してお湯は四九・五度のナトリウム・カルシウム塩化物温泉で、神経痛、筋肉痛、関節痛、五十

肩などに効果があるそうです。サウナ・露天風呂がある浴室は一週間ごとに男女が入れ替わられ風景の変化が楽しめます。子どもから高齢者まで日常生活を離れて、ゆったりぬくもり、くつろげるよう、バリアフリー設計。身体障害のある皆さんの親ばく会もできたそうです。

個室が家族連れに好評です
五室ある風呂付き個室の浴槽はかけ流しで、たつぷりのお湯が家族連れに人気です。料金は二時間以内三千円。一カ月前から予約ができます。また、個室の一つは車いすの人が利用できるように、手すりなどの設備が施されています。

プールなど充実した施設
歩行浴などを目的としたパー



デニールは、リハビリや健康づくりのために、多くの人たちに利用されています。十分な広さの広間など、休憩スペースもゆつたりです。また、中庭やキッズルーム・授乳室など、健康の維持増進のためにふさわしい施設が充実しています。

ロビーなどの利用者募集
ロビーや広間などで、ミニコンサートやコーラスなどの発表をしてみませんか。会場費は無料。文化交流の場としても、大いに利用してほしいそうです。

営業時間・料金など
営業時間：午前10時～午後9時
第一・第三火曜は休館（休日の場合は翌日）
使用料：十二歳以上三時間五百円（延長は一時間につき百五十円）、一日千二百円。十二歳未満二時間三百円（延長は一時間につき百円）、一日八百円
問い合わせ：264 3030